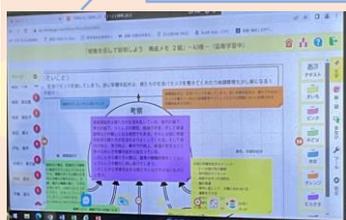


1年国語：『筋道を立てて「根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く」』

ねらい：収集した情報から自分の考えを裏付ける資料やデータを選び、適切に関連付けながら考察を書くことができる。



コラボノート



追究する場面では、前時に作成した各自の構成メモについてグループで見直し、加除修正を行った。活動の前に、「考察を裏付ける根拠であるか」「相手（6年生）が理解できる根拠か」等、メモの内容を検討するための**観点を全体で共有したことで話し合いの内容が焦点化され**、活発に意見交流を行うことができた。まとめる場面では、班で検討したことをもとに、個人で練り直した。**友達のアドバイスにより、複数の事例を提示することや専門的立場からの意見を引用するよさに気付くことができた。**

1年社会：世界の諸地域～アジア州～

ねらい：アジア州が急速に経済成長してきた理由について、アジア各地域の様子について学習してきたことを話し合い、アジア州全体の地域的特色について考察し、表現できるようにする。

ロイロノート



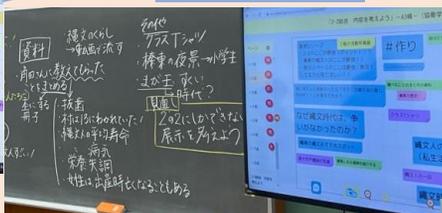
追究する場面では、アジア州の各地域の経済発展の理由が一覧になっている学習シートやこれまでの学習で使ったグラフなどを根拠資料として、**生徒一人一人がアジア州の急速な経済成長の理由を考え、グループで共有した。**

グループでの話し合いをもとに、全体で共有ソフトや大型電子装置を用いて共有し、**各グループの理由を比較・整理しながら、まとめにつながるキーワードを焦点化し、まとめることができた。**

2年総合：かくれ歴史大国・榛東の魅力を伝えよう！

ねらい：榛東村の歴史について調べた情報や、これまでの体験活動をもとに、クラスの展示に取り入れたい内容について理由を考えながら対話することで、自分たちらしい展示とは何かについて考える。

コラボノート



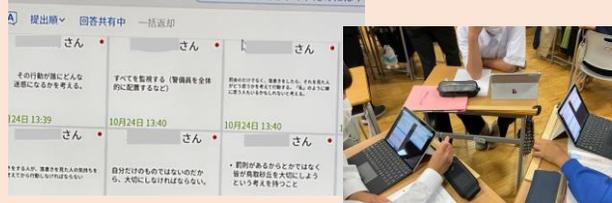
ICT端末を活用し、各自で考えた展示に取り入れたい内容をグループごとにまとめながら**整理・分類**した。その後、クラスで行う展示の内容や方法について、他のグループのまとめたものを見合いながら、学級全体で共有した。教師は生徒の意見を**構造的に板書にまとめ**、思考の可視化を図った。

対話を進める中で生徒は、自分たちの興味・関心だけでなく、「村の人たちに魅力をアピールする」という**相手意識や目的意識**をもつことの重要性に気付くとともに、「**自分たちらしい展示**」について考えを深めることができた。

2年道徳：「美しい鳥取砂丘」 遵法精神、公德心

ねらい：法やきまりは、自分自身や他者の生活や権利を守るためにあることに気づき、自他の生活をよりよくしようとする法やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。

らくがきの問題をなくすためには？



鳥取砂丘のらくがきをなくすために、どのような考え方が大切か話し合う場面では、「自分たちにできることは何か」について記入し、**大型モニタ等で共有した。**

ICT端末の画面上で**グループのメンバーの考えを共有した**。詳しい理由等を伝え合うことで、**道徳的価値について、多面的・多角的に考える**ことができた。また、他のグループの考えを確認したり、教師が別の視点を与えたりすることで多様な考えに触れることができた。